履 歴 書

2026年11月27日現在

ふりがな パリージ　マルコ
氏名 PARISI Marco
国籍 イタリア
現住所 イタリア・トリノ（2026年12月より東京都に転居予定）
E-mail marco.parisi.web@gmail.com

年	月	学歴・職歴
		学歴
2020		ENAIP（トリノ）マルチメディア＆Webデザイン課程　入学
2021		ENAIP（トリノ）マルチメディア＆Webデザイン課程　修了
2021		ITS Foundation for ICT（トリノ）ソフトウェアシステム開発課程　入学
2023		ITS Foundation for ICT（トリノ）ソフトウェアシステム開発課程　修了（ディプロマ取得）
		職歴
2023	2	Synesthesia　入社（Webエンジニア）
2025	3	Synesthesia　一身上の都合により退社
2025	4	Rextart　入社（フロントエンドエンジニア、Reply社のプロジェクトに参画）
2026	7	Webパフォーマンスアナリストに職種変更
2026	12	Rextart　一身上の都合により退社予定
		以上

年	月	免許・資格
2018		IELTS（CEFR C1レベル）取得
2026	4	基本情報技術者試験（FE）合格（ITPEC／PhilNITS実施）
		以上

志望の動機、特技、好きな学科、アピールポイントなど
フロントエンドとWebパフォーマンスを専門に、約4年間、国際的なラグジュアリーブランドやEコマース企業のWebサイト開発に携わってきました。計測データをもとに改善の優先順位を決め、開発チームと協力して表示速度を高めることを得意としています。 日本で長期的にキャリアを築くことを目標に、2026年12月から東京の日本語学校で学びます。日本語の学習を続けながら、フルタイムの社員として長く貢献し、成長していきたいと考えています。 語学：イタリア語（ネイティブ）、英語（ビジネスレベル）、日本語（初級・学習中）

本人希望記入欄（特に給料・職種・勤務時間・勤務地・その他についての希望などがあれば記入）
2026年12月より東京に居住予定です（在留資格：留学）。 フルタイムでの勤務を希望いたします。勤務地は東京（出社またはハイブリッド）を希望いたします。

職 務 経 歴 書

2026年11月27日現在

氏名　マルコ・パリージ（Marco Parisi）

E-mail：marco.parisi.web@gmail.com

GitHub：github.com/Philofobia　／　LinkedIn：linkedin.com/in/marco-parisi-webdev

■ 職務要約

主にReact／Next.jsを用いて、TypeScriptによるWebアプリケーション開発に約4年間従事し、現在はWebパフォーマンスを専門としています。コンサルティング企業のチームの一員として、国際的なラグジュアリーブランドやEコマース企業の高トラフィックなWebサイトを開発してきました。欧州の公認プログラム2つでソフトウェア開発を学び直し、エンジニアに転身しました。

2026年12月より日本語学習のため東京に移住し（在留資格：留学）、日本での長期的なキャリア形成を目指しています。フルタイムで長く活躍できる企業を探しています。

■ 活かせる経験・知識・技術

- React／Next.jsを用いたフロントエンド開発（Storybookによる共通コンポーネントライブラリを含む）
- Core Web Vitalsを中心としたWebパフォーマンスの計測・分析・改善、パフォーマンスバジェットの策定
- NestJS／ExpressによるバックエンドおよびAPI開発（REST、GraphQL）
- ドイツ・スペインの分散チームとの共同開発

■ 職務経歴

会社名	Rextart（Reply社のプロジェクトに参画）
在籍期間	2025年4月～2026年12月（予定）

Webパフォーマンスアナリスト　　**2026年7月～2026年12月（予定）**

担当：世界的な大手アイウェアブランドのWebサイト

- WebPageTest、Grafana、Contentsquare、Core Web Vitalsのフィールドデータを用いてサイトの状態を監視・監査し、分析結果を優先度付きの具体的なチケットとして開発チームに提供
- 新機能のプロジェクト開始時にパフォーマンス要件を定義し、リリース後に対応するのではなく、実装前にパフォーマンスバジェットを設定
- 開発チームおよびクライアントの関係者との定例パフォーマンス会議を主導し、Core Web Vitalsの戦略についてGoogleと直接連携
- 各サイトのCore Web VitalsはGoogleの基準値を満たしており、未対応の修正はアプリケーション保守チームに引き継いだリリース計画に沿って順次対応
- AIコーディングエージェント向けのエージェントスキル（Next.js、アクセシビリティ、セマンティックHTML、CSS、GEO、Webパフォーマンスのルールとレビュー用チェックリスト）を作成し、エージェントがコードを作成・レビューする際に活用

フロントエンドエンジニア **2025年4月～2026年6月**

- ラグジュアリーファッションブランドMonclerおよびPradaのWeb／Eコマースプロジェクトにおいて、フロントエンド機能とGraphQL APIを開発（新規サイトセクション、Storybookによる共通コンポーネントライブラリを含む）
- BekoのEコマースプラットフォームにSpeculation Rules API（プリフェッチ／プリレンダリング）を導入し、ページ表示を高速化。あわせて商品一覧ページ（PLP）と商品詳細ページ（PDP）を再構築し、Google Analyticsによる計測付きのA/Bテスト用コンポーネントを追加
- Reply GermanyおよびReply Spainの分散チームと協働し、VorwerkのEコマースサイトのフロントエンドを開発

会社名	Synesthesia
在籍期間	2023年2月～2025年3月

Webエンジニア **2023年2月～2025年3月**

- イベントの閲覧とチケット購入ができるチケット販売ポータルを設計・リリース（安全な決済ゲートウェイと連携）
- イタリアのある州都向けに、地域情報プラットフォームを構築（地域ニュース、イベント、行政サービス、住民・観光客向けの情報）
- SOLID原則に基づくマイクロサービス（カート、販売、動的クーポン割引）を構築し、外部のXMLサービスと連携、Grafanaで監視
- 休憩施設（レストエリア）管理のための社内予約システムのバックエンドを開発

■ プロジェクト

Performance-report（個人プロジェクト、2026年）

GitHub：github.com/Philofobia/performance-report

- Webパフォーマンス監査を自動化するPythonパイプラインを構築。Chromiumによる計測で、デバイスとネットワーク条件の組み合わせごとにCore Web Vitalsを測定し、正規化してSQLiteに保存
- 厳選したパフォーマンス改善の手引き（プレイブック）を検索・参照するLLMレイヤー（RAG）を設計し、構成が固定されたPDFレポートを出力。構成のずれは自動チェックで検出
- AIコーディングエージェントとMCPツール（Claude）を活用してエンドツーエンドで実装。オフラインテスト812件、カバレッジとセキュリティのチェックを含むCIを整備

■ テクニカルスキル

プログラミング言語	上級：JavaScript、TypeScript、HTML、CSS／SCSS　中級：Python
フレームワーク等	React、Next.js、NestJS、Express、Redux、TanStack、Tailwind、MUI、shadcn、Radix
データ・API	SQL、NoSQL（MongoDB）、Prisma、TypeORM、REST、GraphQL
ツール	Linux、Docker、Git、Claude、Jira、Teams、Slack

■ 資格

2026年4月　基本情報技術者試験（FE）合格（ITPEC／PhilNITS実施）

※ 日本の基本情報技術者試験に相当し、在留資格「技術・人文知識・国際業務」の学歴・実務経験要件が免除される試験の一つです。

■ 語学

英語	ビジネスレベル（CEFR C1、IELTS 2018年）
イタリア語	ネイティブ
日本語	初級（現在学習中）

■ 講師・地域活動の経験

SYX（トリノ） 講師 **2023年**

講座「自分だけのプラットフォームゲームを作ろう」「PythonとRen'Pyでビジュアルノベルを作ろう」を担当

社会的協同組合 Il Margine（トリノ） 音楽ラボ講師 **2015年～2016年**

音楽制作ワークショップを企画・担当し、Logic Proなどの音楽制作ソフトの使い方を指導

■ 学歴

2021年～2023年	ITS Foundation for ICT（トリノ、2年制の高等技術教育機関）ソフトウェアシステム開発課程 ディプロマ取得（100/100）
2020年～2021年	ENAIP（トリノ、職業訓練機関）マルチメディア＆Webデザイン課程　修了（88/100）

■ 自己PR

Webパフォーマンスの改善を強みとしています。プロジェクト開始時にパフォーマンスバジェットを設定し、計測データをもとに改善項目に優先順位を付け、開発チームがすぐに着手できる形で提案してきました。

また、ドイツ・スペインのチームとの共同開発や講師の経験を通じて、異なる背景を持つメンバーにも分かりやすく情報を共有することを大切にしています。日本で長く働くことを目標に、日本語の学習を続けています。

以上